

まきのみだより

千葉県立楨の実特別支援学校
令和3年度 VOL. 6
令和3年9月31日 発行

「すべては子どもたちのために」適切な指導支援をめざして！

11月25日(木)に、本校職員の学習指導力向上のため全職員による研究会を行います。本校では「(児童生徒が)自ら参加し、学びに向かう姿を目指した授業づくり」をテーマに、学部ごとに研究授業を重ねております。具体的には、児童生徒自身が目標を設定し評価する場面を学習に設定することで、学習意欲を高め、自分から学習に参加できる姿を目指して、指導方法の研究をしています。この日は、帝京大学教育学部准教授の中村晋氏を講師として招き指導助言をいただきます。

保護者の皆様には、すでに文書でお知らせしているとおり、この日は児童生徒の下校時間を13時50分に変更させていただきます。児童生徒の貴重な学習時間を使わせていただくことに感謝し、より良い指導支援ができるように研鑽に励みます。

また、夏季休業中には、感染対策を十分にしたうえで全職員による、以下のような3回の研修会・研究会を行いました。

- ①「感染症対策を含めた児童生徒の保健衛生指導と医療的ケアの理解」について、本校の医療的ケア指導医の諏訪部信一氏(君津中央病院小児科部長)を招いて研修会を実施しました。
- ②「児童生徒理解に基づく適切な指導支援」について、臨床心理士の上田和子氏(なんそう心理研究所長(ゆうわ心の相談室等を主催))を講師に招き、生育歴や家庭環境を踏まえて児童生徒の課題となる行動を捉え、学級の児童生徒との関係づくりや指導支援の手立てについて研修しました。
- ③児童生徒への学習指導について、帝京大学准教授の中村晋氏を招き、校内での研究会を行いました。

この他にも心理発達検査の研修やICT活用の研修を希望する職員で実施しました。

本校では、児童生徒の人権を大切にしながら自立と社会参加の力を育むことを、学校の目標にしています。学習指導や生活指導など、学校教育のすべてにおいて、児童生徒の実態のあわせた適切な指導支援のために、家庭や施設と一緒に次のことに取り組みます。

(1) 児童生徒への日々の指導支援の「振り返り」を行います

- ・学級担任同士、学習グループでかかわる職員同士で定期的に行っています。

(2) セルフチェックを実施します

- ・セルフチェックシートを活用し、2週間ごとに自分の指導支援を振り返ります。

(3) 保護者や施設の皆様と共通理解を図ります

- ・日々の学校での様子や家庭での様子、保護者や施設担当者の声は、連絡帳でやりとりをさせていただいています。必要に応じて、電話等で直接、お話しをさせていただきます。

(4) PTA研修会を全職員で視聴します

- ・11月9日(火)に予定されている(感染状況等により延期または内容変更あり)

PTA研修会は、PTA会長の島崎様を講師に招いて実施します。保護者の皆様の思いや願いに触れることは、私たち職員にとっても大切な学びです。

こうした取組について、家庭や施設、地域の皆様から御意見等があれば、どのような形でも構いませんので、お聞かせいただくと幸いです。

校長 渡邊 昭宏

